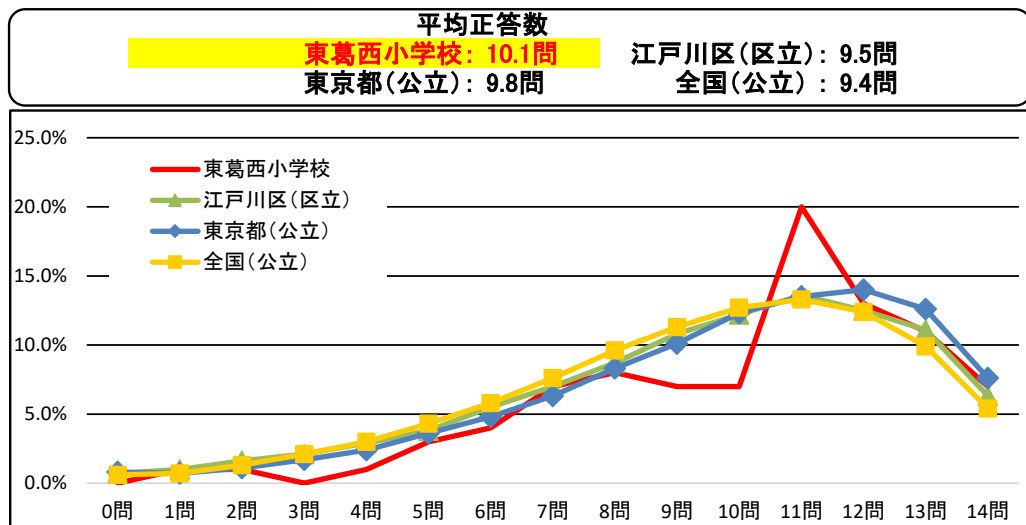
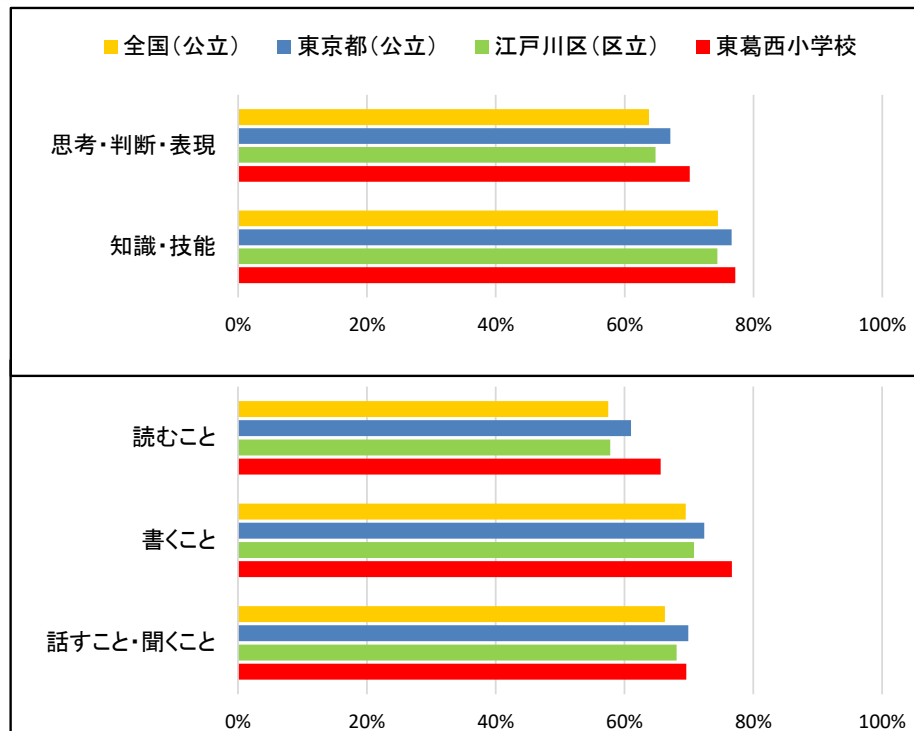


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 東葛西小学校

正 答 数 分 布



「領域別」の結果

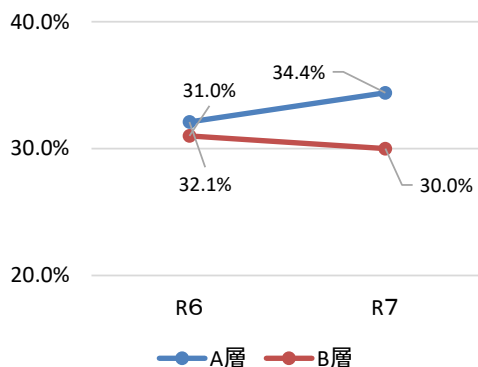


四分位における割合（都全体の四分位による）

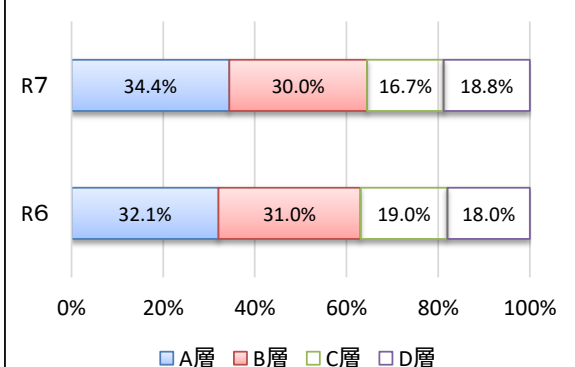
国 語	上位 ←		→ 下位	
	A 層 12～14問	B 層 10～11問	C 層 8～9問	D 層 0～7問
東葛西小学校	34.4%	30.0%	16.7%	18.8%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

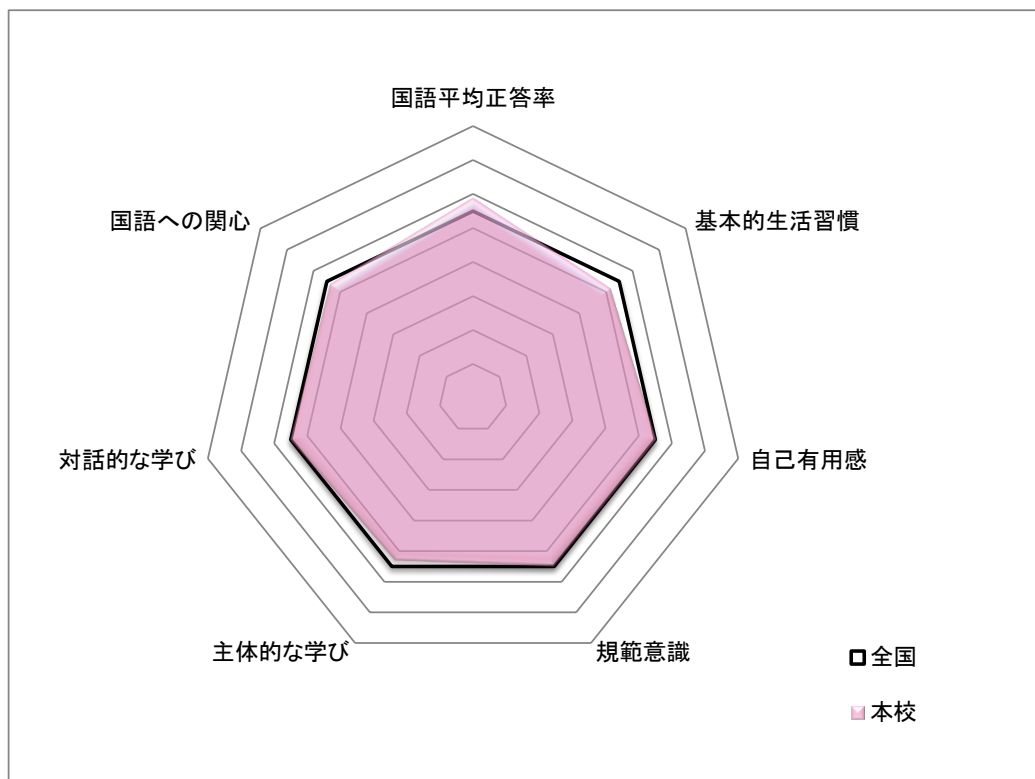
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

●結果分析
AB層の割合が64.4%と東京都の平均を超えている。解答状況を分析すると、「書くこと」領域での正答率が高く、漢字や記述問題に対する正答が多いことが分かる。
一方でCD層の児童は、資料から情報を読みとり、条件に合わせて記述することができていないため誤答となっている。また、同音異義語の漢字の正答率が低かった。普段の授業から、情報を整理しながら文章読解を行うことや熟語の意味を捉えて漢字練習を行うことを意識して指導していく。

《学校の取組》
・教員の指導力向上

●校内研修
ねらいに応じた効果的な指導方法や教材への理解を深めるために、校内研修を設けている。今年度の研究教科である算数科だけでなく、様々な教科への研究を深められるように研修授業を実施している。

・基礎学力の保障
●読書目標
各学年に読書の年間目標ページ数を設定し、本を読むことへの習慣化を図っている。更に、毎週火曜日・木曜日は、朝読書の時間とし、「読むこと」への学力向上につなげている。
●漢字検定
毎学期末に漢字50問テストで90点以上取ることを合格としている校内漢字検定を実施している。
・学習習慣の確立

●東小スタンダード
本校では、授業の受け方や持ち物についてルールを決め、共通理解を図っている。
●家庭学習
各学級で毎日宿題を出し、家庭での学習時間を設けている。また、学期に1回「家庭学習キャンペーン」を設定している。家庭学習キャンペーン中は、学年の目標時間を意識し、質の高い学習ができるように声を掛けている。
・AB層の育成

●文章読解力向上への取組
朝学習の時間は、全学年で文章読解の問題に挑戦している。4～6年生は、よむYOMUワークシートを活用し、新聞記事を読むことに慣れたり情報を整理して問題を読み解いたりすることを行っている。

《チャートの特徴》

●平均正答率
東京都の平均正答率に比べて、2%高い。応用問題にも諦めずに取り組んでいることが結果につながっていると考えられる。今後も、思考力を育むために、授業内で自分の考えを書いて表現する時間を設けていく。

《家庭・地域への働きかけ》

●学校HPやテトルを通しての情報発信
学力調査の日程や分析結果を周知している。事前に学力テストの日程や目的を知らせることで、児童の家庭学習の充実につながると考えている。